



“もしかして、私、ニオってない?!
困ったときのアソコ110番！”

➔ 【“もしかして、私、ニオってない?! 困ったときのアソコ110番!”】

「ゆうのアソコって、なんか玉ねぎみたいなニオイがするね。味もソレっぽい」初めてつき合った人に、アソコを舐められながら笑顔でこう言われたんです。私より経験豊富な年上のその彼は「ブルーチーズみたいなニオイの人もいれば、ネギっぽい子もいる。人それぞれだから気にしなくていい」って言うてくれたけど、私にとっては大事件！大ショックでした！

その日から自分の体臭がものすごく気になるようになったんです。汗をかくとワキから玉ねぎ臭がする気がして、ソッコワキシューしないと胸がバクバクして余計汗かいたり、友達の家に泊まりに行くと自分の体臭が気になってタオルや洋服とか借りることができなかったり、玉ねぎが食べられなくなったり…。ずっと悩んできました。

“私のニオイ”を教えてくれた初カレと別れてから、何人が彼氏はできました。

でも、ニオイが気になってなかなかお泊りできなかったり、アソコを舐められるのが絶対ムリでエッチを心から楽しむことができなかった。結局、マタを開けなければ、当然心も開けないって感じで長続きする恋愛はできなかったの…。

そんなニオイの悩みを相談できたのは、唯一ジツの姉だけ。姉は以前たまにワキガみたいなニオイがすることがあったんだけど、最近はまったく無臭！「お姉ちゃん、カラダのニオイが気になって、人と近づけないんだけど…お姉ちゃんはどうしてるの？」って聞いてみたんです。

すると「私はここを利用してるよ」ってある通販サイトを

教えてくれたの。そのページを開いてみると、いろんなカラダの悩みが載っていて、悩んでいるのは私だけじゃないんだ！って安心させられました。さっそく体臭を予防してくれるサブリと、デリケートゾーン用のせっけんを購入してみたんです。

「くっ臭い…？　すぐ舐めるのやめていいからね」あの石けんを使い出して3ヶ月目、ちょうど同じくらいの期間つき合っていた彼氏が、私のアソコを舐めようとしたとき、おそろおそろ聞いてみました。それまでは「恥ずかしいから」って断り続けてきたんだけど、頑張っって舐めるのを許したんだ。

「無味無臭だよ」と彼。「ホントに？　初カレに“ニオウ”って言われてから、ずっとコンプレックスで…だからニオイを洗い流してくれるせっけんを使ってるの…」

「清潔にしてくれているのはうれしいけど、ニオイでオマエを嫌いになったりなんかしないよ。たまには洗ってないナマのお前を味わってみたい。それも興奮しそうじゃん。本気で(笑)！」

この言葉を聞いて更に彼のことが好きになったよ。この日を境に、彼に心もアソコもOPENできるようになって、彼とのエッチがとっても楽しくなったんです。

アソコを舐められる快感も知ったし　彼とはこれからもずっと長く付き合えそうです。

いっっぱい気持ちいいこと経験できるといいな

